

人でも環境でも

やさしくそのままを目標として

〜今、一人ひとりができること〜

ごみの減量化・リサイクルにご協力を！

平成25年度に私たちの家庭から出されたごみの排出量は、昨年度と比べて年間266トン(2.2%)増加しました。

ごみとして収集されている「ペットボトル」や「プラ容器」などの資源ごみは、再資源化が行われていますが、すべてが再資源化される訳ではありません。

ごみの分別がきちんとなされていないと、リサイクル率が下がり、再資源化に掛かるコストは高くなってしまいます。

特に「プラ容器」のリサイクル率が低く、その原因は自身が残ったままであったり、汚れが付いていたり、分別が不十分のために起こっています。

きちんと分別を行えば、ごみも資源として生まれ変われますので、ごみの再資源化・減量化について、皆さんの身近なところから協力をお願いします。

■平成25年度 つくばみらい市のごみ排出量(単位：トン)

内訳	平成25年度	平成24年度	増減	
可燃ごみ	8,568	8,450	118	1.4%
不燃ごみ	1,589	1,531	58	3.8%
資源物ごみ	1,718	1,663	55	3.3%
粗大ごみ	226	191	35	18.3%
有害ごみ	14	14	0	0%
合計	12,115	11,849	266	2.2%

■ごみ減量につながる分別の工夫
生ごみは「キュツ」とひとしぼり
 再生できない紙くずや生ごみなどは「可燃ごみ」の扱いです。生ごみは、ごみ袋に入れる前に「ぎゅつ」とひと絞りするだけで、ごみの重さを軽くできます。
プラ容器はよく洗って資源ごみに
 「不燃ごみ」として出されているごみの中で「資源ごみ」として出せるものは無いでしょうか？

■平成25年度 常総広域圏内のリサイクル率 (単位：トン)

種別	処理量 (A) (資源物ごみとして搬入された量)	搬出量 (B) (資源物として常総環境センターから搬出されたもの)	リサイクル率 (B/A)
あきビン	1,884	1,828	97.0%
あき缶	686	604	88.0%
ペットボトル	563	412	73.2%
プラ容器	1,952	609	31.2%

プラスチック製容器包装やペットボトルなどは「不燃ごみ」として出せますが、洗ってきちんと分別すれば「資源ごみ」として収集され再利用されます。
■資源ごみを出す際の注意点
 ▼プラ容器の場合
 ・中身を使い切る

- ・『プラ』マークを確認する
- ・汚れているものは洗って水気を切る
- ・PETマークを確認する
- ・キャップは必ず取りラベルをはがす

- ・洗って水気を切つてつぶす
- ※油、ソース、洗剤などが入っていたペットボトルも、汚れを落とせば「プラ容器」として出せます。
- ※汚れが残っている場合は「不燃ごみ」の扱いとなります。
- ▼ペットボトルの場合
 ・中身を使い切る

ごみ集積所の適正管理のお願い

ごみ集積所に「分別不十分のため収集できないごみ」がそのまま放置されていることがあります。

集積所の清掃などの維持管理は、利用する皆さんで行っていただくことになっていますので、ごみ集積所が汚れると、集積所を管理する方の手間が増えたり、悪臭やごみの散乱で、集積所周辺の迷惑となります。

所有している空き地はごまめに除草を

- 空き地などは、普段から定期的に管理を行わないと、雑草などが繁茂し、次のような生活環境の悪化につながります。
- ①害虫の発生原因となる
 - ②周辺から見えにくくなるため、不法投棄など犯罪の温床になりかねない
 - ③見通しが悪くなり、交通事故などの発生につながる
 - ④枯れ草などにより火災の原因にもなる
 - ⑤景観を損ねる
- 空き地を所有している方は、近隣住民の安全と生活環境を損ねないためにも、ご自身や草刈り業者などに依頼しての除草作業を定期的に行ってくださいませようお願いいたします。